

「売上高」改善も「経常利益」は悪化

原材料費・仕入価格の上昇による影響大

＜調査機関＞ 北九州商工会議所

＜調査期間＞ 令和4年5月30日～6月24日

〔参考〕調査開始日(5/30)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値 27,369円43銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 127円55銭

＜回答数＞ 520社(製造業124社・非製造業396社)

＜調査方法＞ 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式



本件に関するお問い合わせは、

北九州商工会議所 産業振興課 (TEL:541-0185)

＜概況＞

◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

「売上高」は改善するも「業況判断」「経常利益」は2期連続悪化
次期は主要3項目すべてほぼ横ばいを予測

◆【業種別】

製造業は主要3項目すべて10ポイント以上悪化
サービス業は主要3項目すべて改善
次期は小売業、運輸業が主要3項目すべて改善を予測

◆【規模別】

大規模企業は「売上高」が改善するも「経常利益」は10ポイント以上悪化
中規模企業は主要3項目すべて悪化
次期は小規模企業が主要3項目すべて悪化を予測

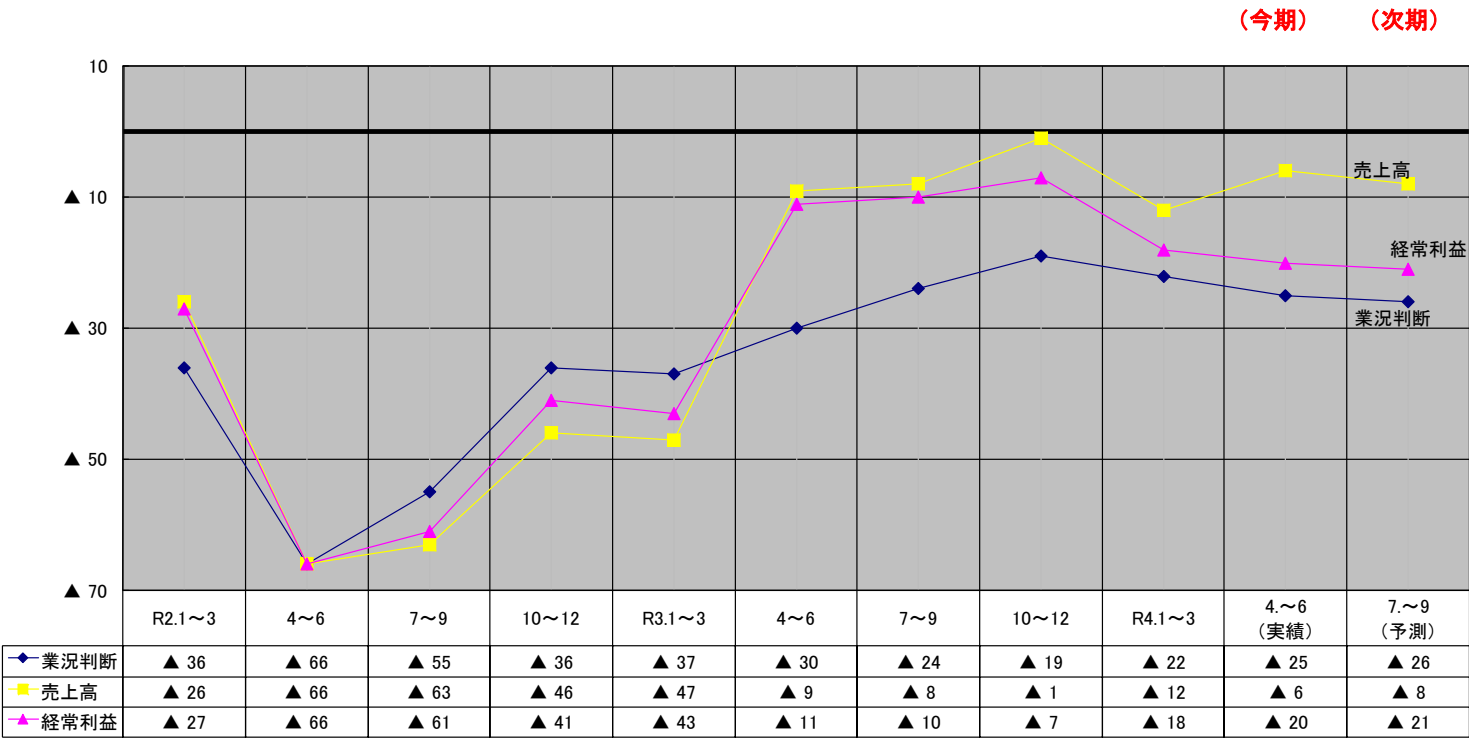
※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

＜今期実績＞（4－6 月期）
・「売上高」は改善するも「業況判断」「経常利益」は 2 期連続悪化

＜次期予測＞（7－9 月期）
・次期は主要 3 項目すべてほぼ横ばいを予測



	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
業況判断	▲ 18	▲ 25
売上高	▲ 5	▲ 6
経常利益	▲ 14	▲ 20

業種別

業況判断DI

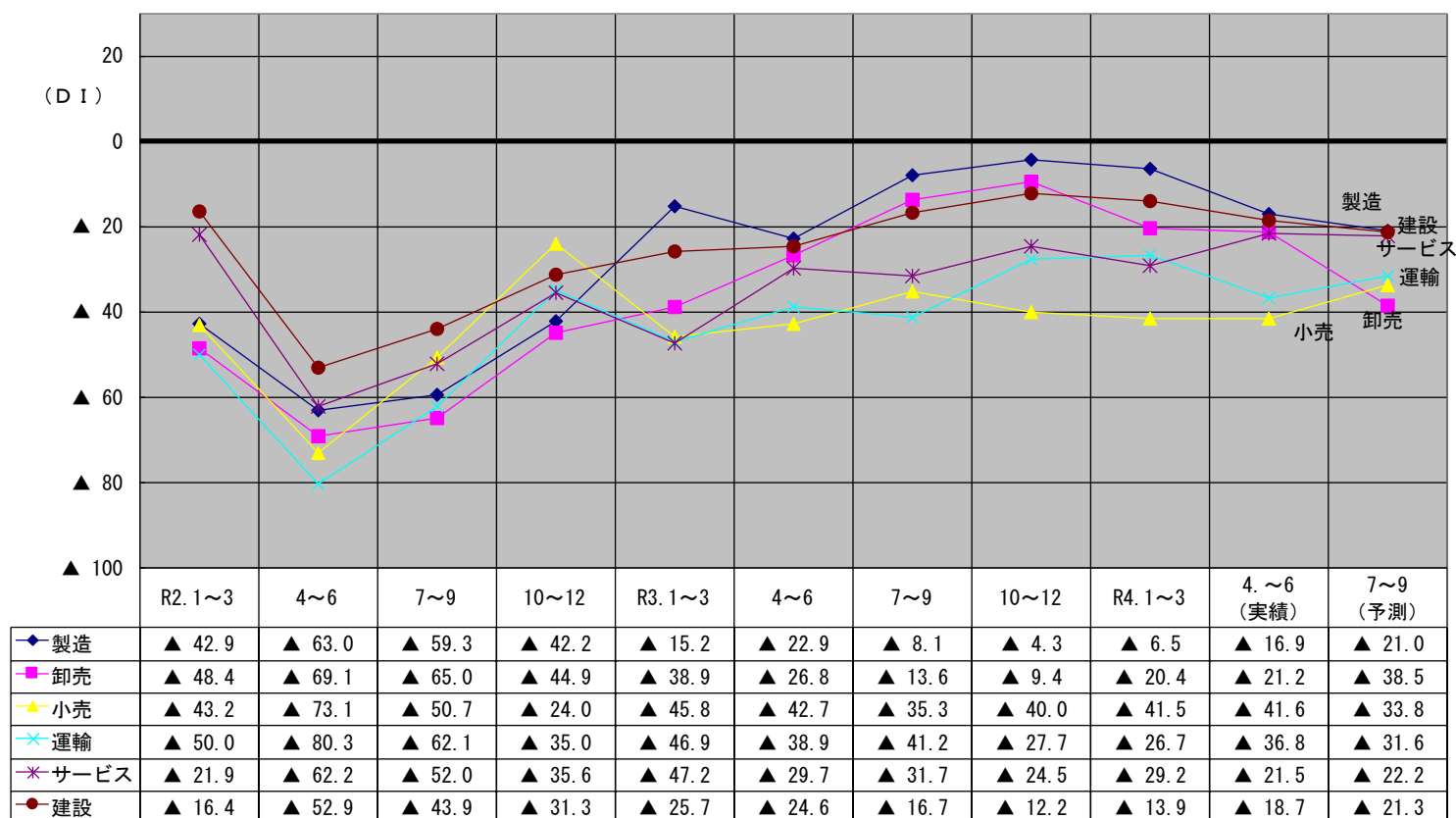
<今期実績> (4-6 月期)

- ・サービス業のみ改善
- ・製造業と運輸業は約 10 ポイント悪化

<次期予測> (7-9 月期)

- ・小売業と運輸業が改善を予測

(今期) (次期)



	3 月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
製造	▲4.7	▲16.9
卸売	▲20.4	▲21.2
小売	▲29.2	▲41.6
運輸	▲20.0	▲36.8
サービス	▲20.0	▲21.5
建設	▲19.4	▲18.7

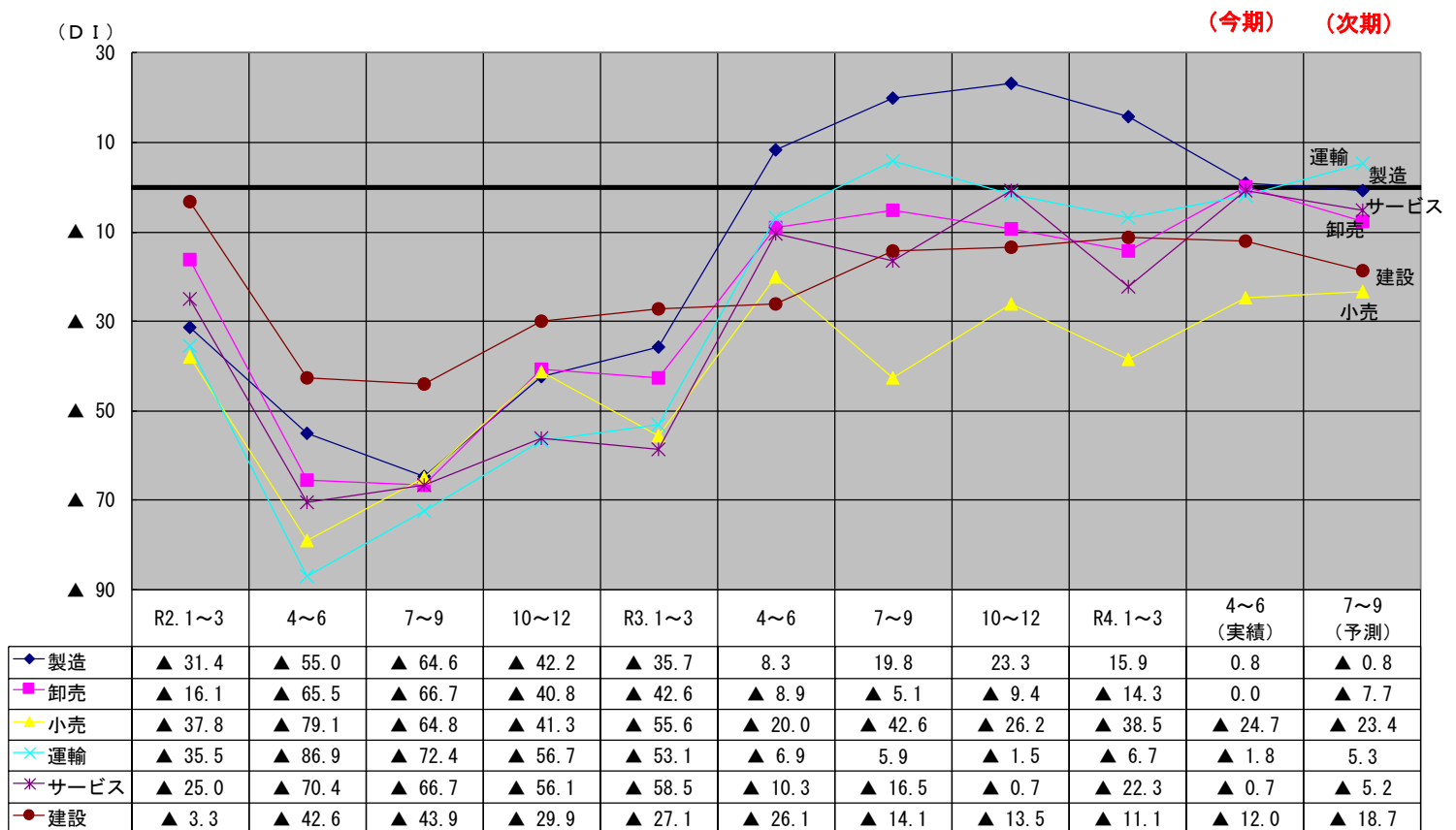
売上高DI

＜今期実績＞（４－６月期）

- ・製造業は 15.1 ポイント悪化
- ・小売業は 13.8 ポイント、サービス業は 21.6 ポイントそれぞれ改善

＜次期予測＞（７－９月期）

- ・小売業と運輸業が改善を予測



	3月調査時の 4~6月期予測	4~6月期実績
製造	15.9	0.8
卸売	▲12.2	0.0
小売	▲16.9	▲24.7
運輸	13.3	▲1.8
サービス	▲10.0	▲0.7
建設	▲26.4	▲12.0

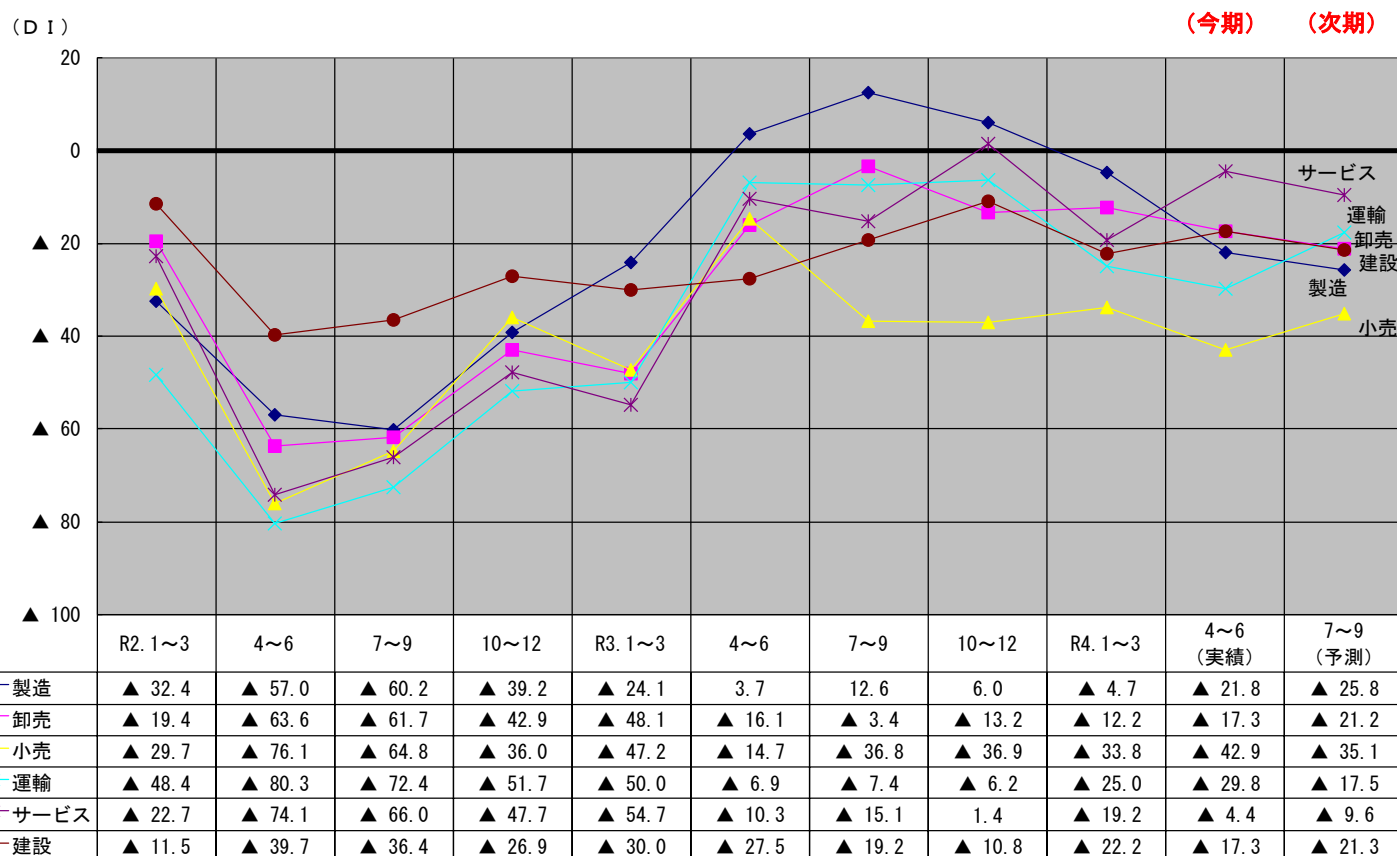
経常利益DI

＜今期実績＞（4～6 月期）

- ・製造業は 17.1 ポイント悪化
- ・サービス業は 14.8 ポイント改善

＜次期予測＞（7～9 月期）

- ・小売業と運輸業が改善を予測



	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
製造	▲6.5	▲21.8
卸売	▲20.4	▲17.3
小売	▲24.6	▲42.9
運輸	▲5.0	▲29.8
サービス	▲13.8	▲4.4
建設	▲20.8	▲17.3

— 規 模 別 —

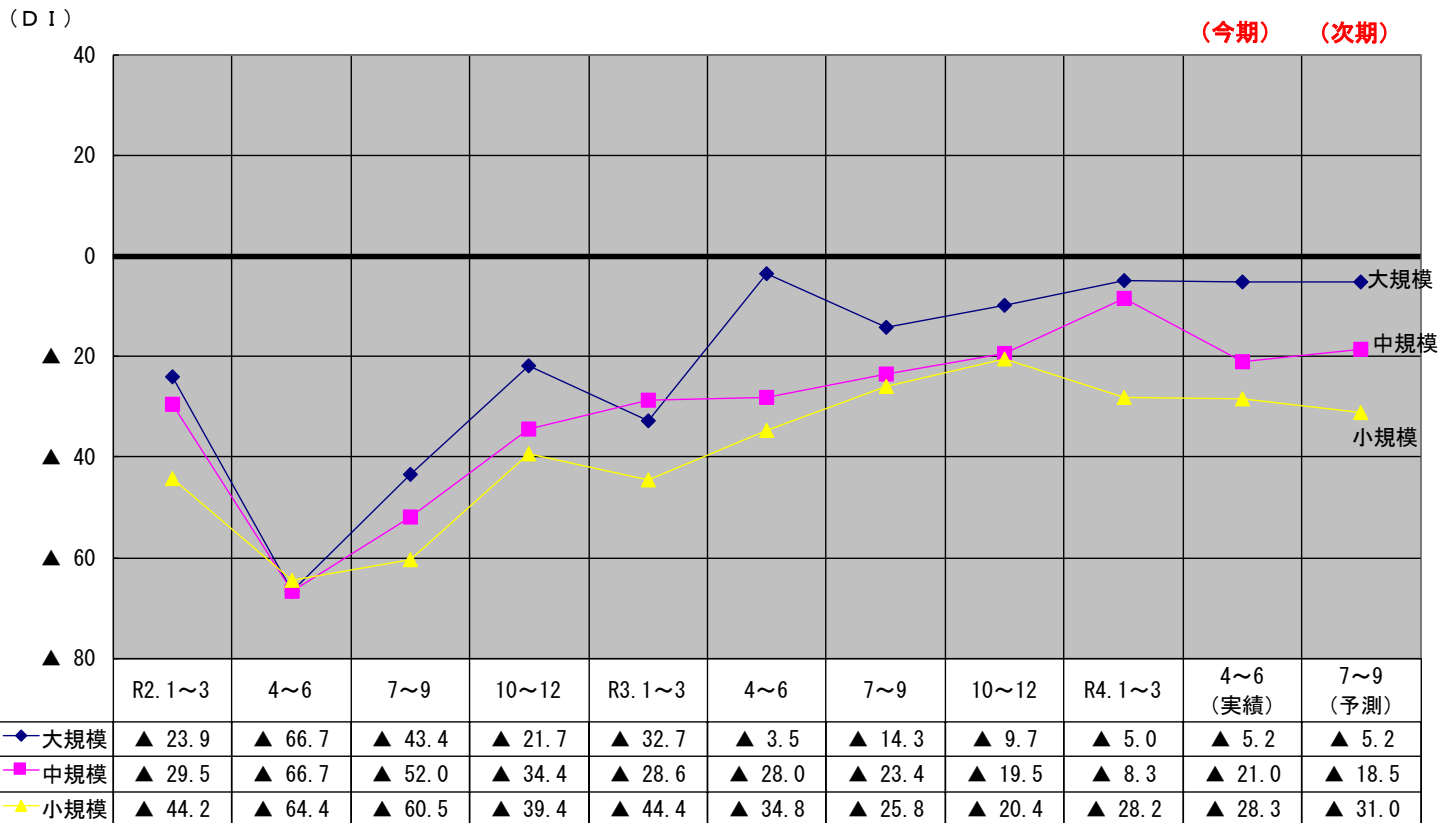
業況判断DI

<今期実績> (4-6 月期)

・大規模企業と小規模企業は横ばい、中規模企業は悪化

<次期予測> (7-9 月期)

・中規模企業のみ改善を予測



	3 月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
大規模	▲3.3	▲5.2
中規模	▲15.3	▲21.0
小規模	▲20.8	▲28.3

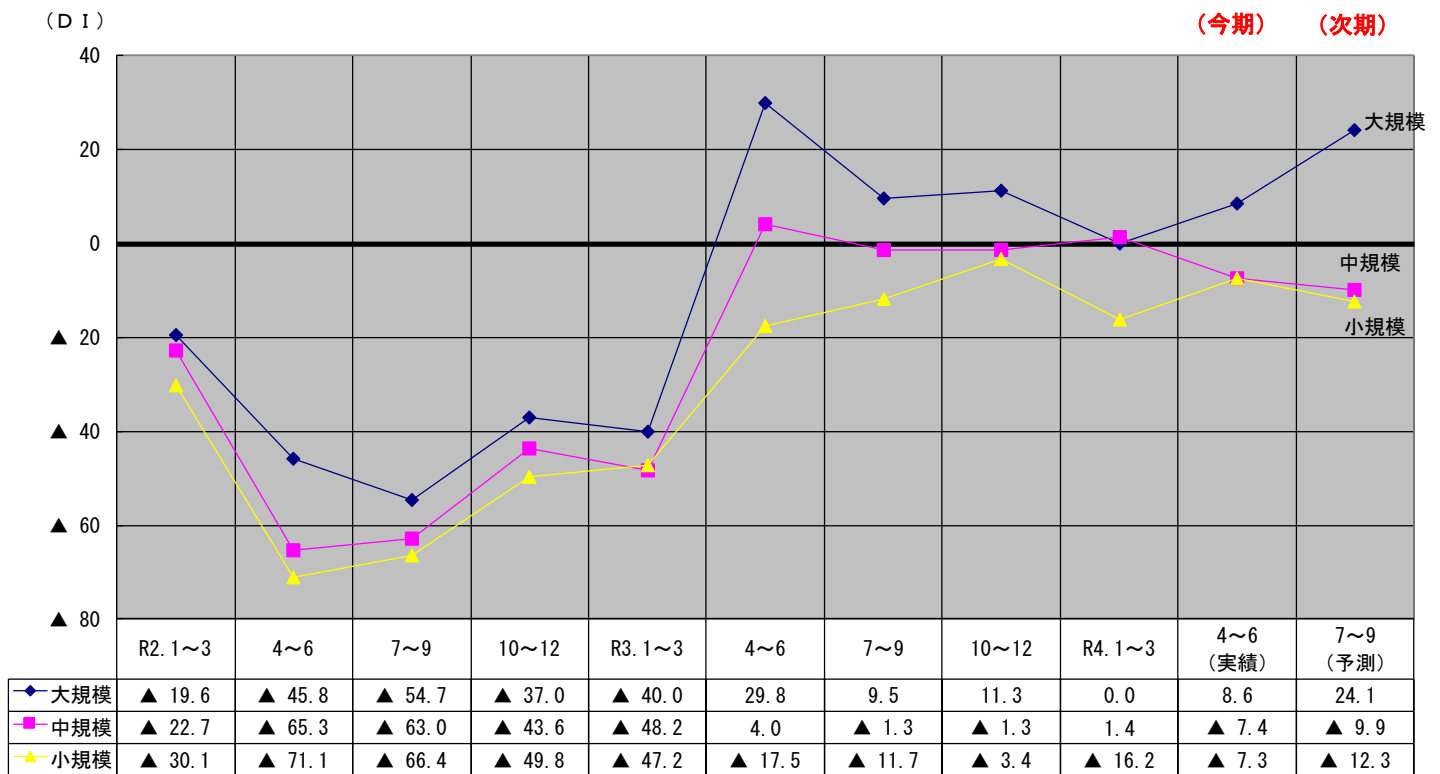
売上高DI

<今期実績> (4～6 月期)

- ・大規模企業と小規模企業は改善、中規模企業は悪化

<次期予測> (7～9 月期)

- ・大規模企業は 15.5 ポイント改善を予測
- ・中規模企業と小規模企業は悪化を予測



	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
大規模	13.3	8.6
中規模	▲5.6	▲7.4
小規模	▲8.0	▲7.3

経常利益DI

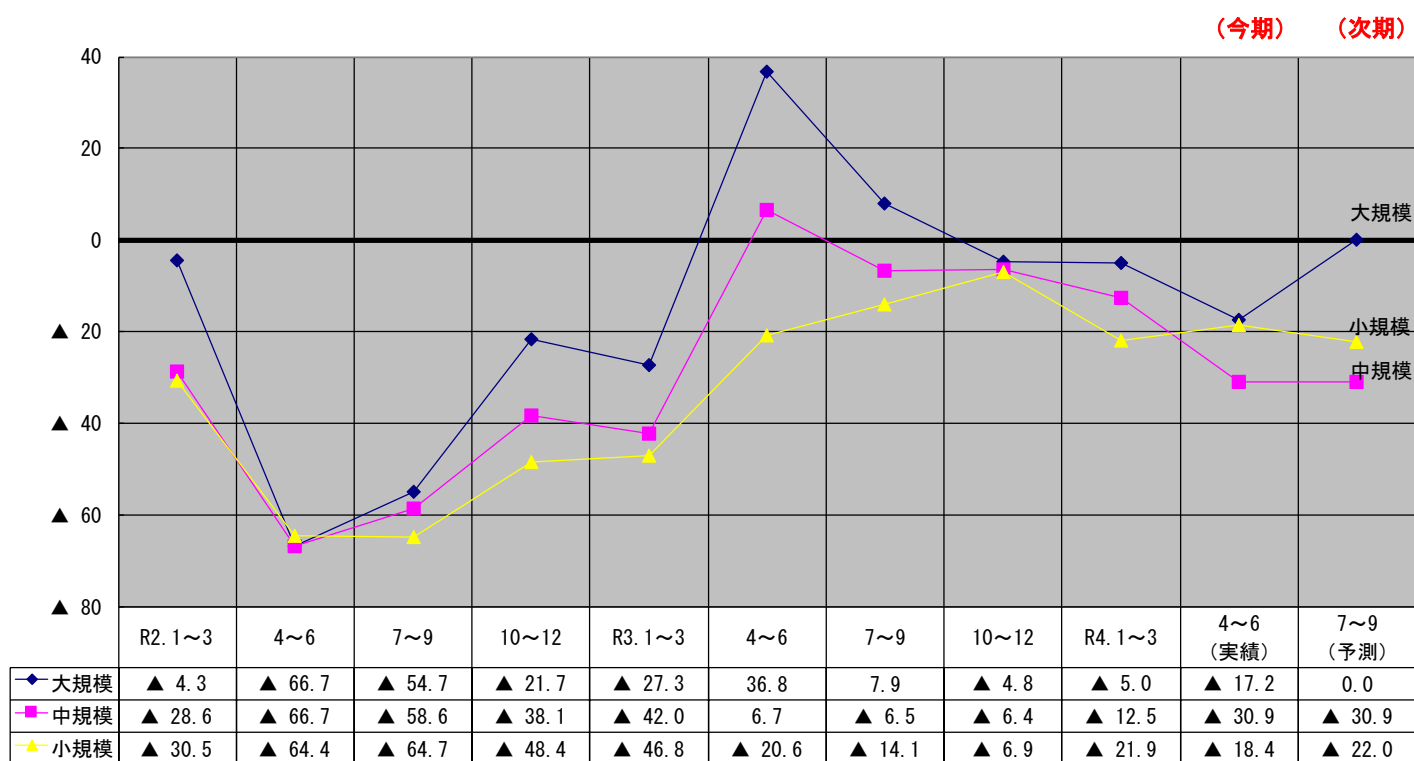
<今期実績> (4～6 月期)

- ・大規模企業と中規模企業は悪化、小規模企業は改善

<次期予測> (7～9 月期)

- ・大規模企業は 17.2 ポイント改善を予測

(D I)



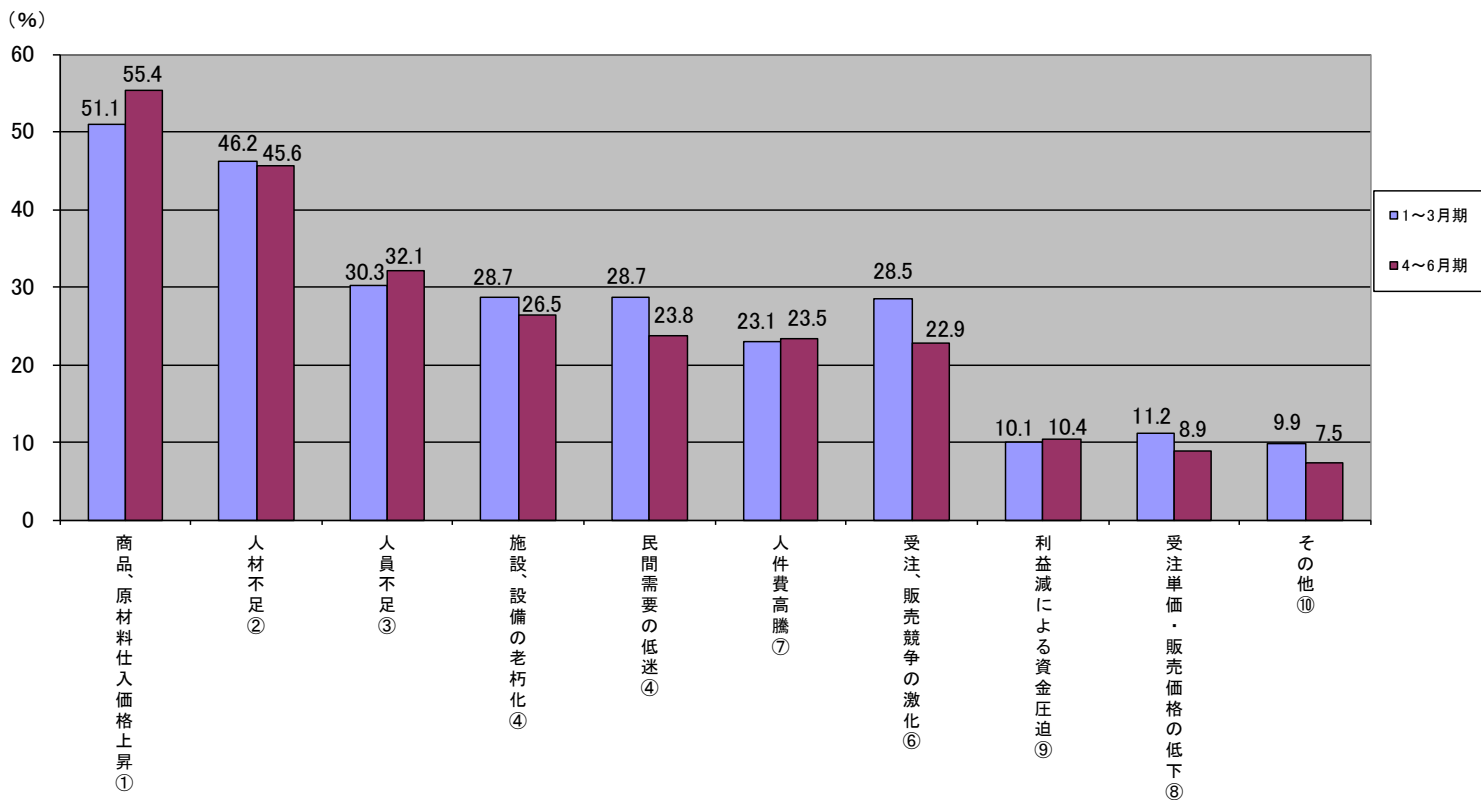
	3 月調査時の 4～6 月期予測	4～6 月期実績
大規模	▲1.7	▲17.2
中規模	▲29.2	▲30.9
小規模	▲13.4	▲18.4

その他項目 DI の動向

	R2 年	R3 年				R4 年		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6 (実績)	7~9 (予測)
①販売価格・ 受注単価 (「増加」-「減少」)	▲16.6	▲14.0	▲6.1	▲1.9	7.5	6.7	13.5	15.5
②資金繰り (「容易」-「困難」)	▲3.2	▲0.7	0.2	3.7	6.3	5.2	7.8	4.8
③設備投資 (「増加」-「減少」)	▲24.9	▲18.4	▲16.4	▲12.4	▲3.6	▲13.1	▲0.6	0.4
④雇 用 (「過剰」-「不足」)	▲23.7	▲23.3	▲24.3	▲28.6	▲35.7	▲37.8	▲36.3	▲35.8

- ① 「販売価格・受注単価」……次期もさらに上昇を予測
- ② 「資金繰り」……前期から改善。次期は悪化を予測
- ③ 「設備投資」……前期から改善。次期もさらに改善しプラス水準を予測
- ④ 「雇用」……前期から改善。次期は横ばいを予測

経営上の問題点上位10項目(複数回答)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

企業の声

- 半導体業界からの需要増は変わらず、フル生産状態が継続している。一部の原料、資材に関し調達が難しくなっている
【製造業(化学)・中規模】
- 直接輸出する企業ではないため、円安は悪影響の方が大きい。原材料費高騰により経常利益が減少している
【製造業(窯業・土石)・中規模】
- 原油価格高騰により、仕入値が約 20%上昇。人手不足も解消していない
【卸売業(その他の卸売)・小規模】
- 仕入価格が 3 割～2 倍近く上昇。過去にない上昇率のため、先が読めない状況
【小売業(書籍・文具)・小規模】
- 原油価格高騰で、経費が増加したが価格転嫁は難しい状況
【運輸業(貨物運送)・小規模】
- 光熱費の上昇が激しく、経営面で大きくマイナスとなっている
【サービス業(その他のサービス)・中規模】
- コロナの規制緩和は進んでいるが、客足が戻ってこない。自己判断で自粛している感がある
【サービス業(その他のサービス)・小規模】
- 主にインフラ工事を受注しているためコロナ禍でも影響はあまり受けていない
【建設業(設備工事)・中規模】
- 材料の高騰により利益減とならないように原価管理に苦労している
【建設業(総合建設)・小規模】